

一般質問通告書

【第79回定例会】

多可町議会議長 清水俊博 様
多可町議会議員 藤本 英三



受 領 日	番号
平成 29 年 8 月 28 日 午前・午後 8 時 30 分	4

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. ドローンを有効利用してはどうか	町 長
今、カメラが内蔵されて無人航空機として、注目されているドローンを利用して、遠隔操作で災害時や緊急時又は農業調査等に威力を発揮しますので、是非導入すべきと思います。	
2.	
3.	

質 問 の 内 容

①ドローン導入

2・3年前からカメラが内蔵されている、小型の無人航空機としてドローンが注目されています。空撮のみならず、多目的に利活用されますので、是非導入すべきと思います。皆さんよくご存じだと思いますが、ドローンは約4 Km離れていても遠隔操作ができて、小型で操作も少し慣れば誰でもできます。金額は比較的安価で約20万円で、これ位でも十分機能が果たされます。そしてあまり重い物は運べませんが、ちょっとした書類などを移動させることは可能です。その上、維持経費は殆ど掛りません。

その利用方法を例に挙げて、必要性を述べて見ます。

まず災害時には、孤立避難所や被害に遭った場所まで辿りつけない場合にドローンが活躍して、現場の状況や情報を的確に把握できますので対応が早くできます。猛暑や放射線にも強いので、もし福井県高浜の原発事故で、本町まで汚染でもすれば、活躍すると思います。しかし夜間や雷雨時には難しいかも知れません。次に、広大な農地でも赤外線技術を使って農作物の病気など蝕まれているかを判断ができますので、農家の人にとって病気を未然に防ぐことができます。最近熊の目撃情報をよく耳にしますが、熊の追跡撮影もできますので、住民の安全確保にも利用できます。またスポーツではマラソン大会やクワオルト・仙人ハイクの競技にも利用して、選手や競技者の安全確認と現場の状況も把握もでき、緊急時での主催者の判断も的確にできます。新庁舎完成はまだ1年以上先のことで、不便な役場機能が続きます。どうしても現物書類が必要な場合は、ドローンで運べることができ、仕事もはかどります。いま徐々にではございますが、ドローンのマニアも増えつつあると聞いておりますので、ケガや危険性も少なく、スピード・高さ・正確性を競う競技を、全国に先駆けて多可町で開催してはどうでしょうか。これら以外に、利用しようと思えば沢山あるかと思っておりますので、是非ドローンを導入して、住民の福祉向上と町の活性化の為に、ドローンを利活用すべきと考えます。